

様式第1号

汚水又は廃液に係る特定施設設置届出書の記入例

富山県知事 ○○ ○○ 殿
市町村長 ○○ ○○ 殿

特定施設設置~~(使用)~~届出書

令和○年○月○日

届出者 住所 〒○○○-○○○○
○○県○○市○○町○○番○○号
氏名 ○○株式会社
代表取締役 ○○ ○○
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

注意点
・これは特定施設を新たに設置する場合の記入例です。
・届出書は各区分（下記を参照）ごとに作成してください。
様式第1号：特定施設設置届（全ての区分で共通）
別紙1～3：ばい煙に係る特定施設
別紙4～5：粉じん又は有害ガスに係る特定施設
別紙6～8：汚水又は廃液に係る特定施設
別紙9：悪臭に係る特定施設
・特定施設の着手予定日の60日前までに届け出てください。
(すでに着手している場合やこれより期間が短くなる場合は相談してください。)

年号又は西暦（西暦は4桁）で記入する。

該当するもの以外は、取消線を入れる。

届出者又は代表者の氏名等を記入する。
(代表権のないもの(例えば工場長)が届出をする場合は、
①代表者と工場長を連名で記入（委任状不要）
または
②工場長を記入し、委任状（写し可）を添付
※ 届出書・委任状ともに押印は不要

特定施設設置工場又は事業場の名称を記入する。

上記工場又は事業場の住所を記入する。

日本標準産業分類の中分類を記入する。

(1)は原料の成分割合、反応率等からばい煙や汚水の濃度等を計算したものやカタログ値等を添付する。
(2)は工場又は事業場の場所を明記する。（色つけするなど見やすく）
(3)は特定施設の設置場所を明記する。（色つけするなど見やすく）
(4)は操業の系統がわかるフロー図等に特定施設を明記する。（色つけするなど見やすく）
(5)は設計図、カタログ図面等を添付する。

富山県公害防止条例第9条第1項~~(第10条第1項)~~の規定により、特定施設（騒音に係る特定施設を除く。）の設置~~(使用)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	○○株式会社 ○○工場 (電話番号) ○○○-○○○-○○○○		
工場又は事業場の所在地	富山県○○市○○町○○番○○号 (郵便番号) 〒○○○-○○○○		
事業内容	化学工業		
資本の額又は出資の総額	4,000 万円	敷地面積	10,000 m ²
公害防止のための管理責任者氏名	公害防止統括者 ○○ ○○	作業場面積	屋内 7,000 m ²
常時使用する従業員数			117 人
△ 特定施設の種類	別紙のとおり	※ 市町村受理年月日	年 月 日
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	※ 受理年月日	年 月 日
△ 特定施設使用の方法	別紙のとおり	※ 整理番号	
△ ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法	別紙のとおり	※ 施設番号	
添付書類	(1) ばい煙の濃度等に関する説明書 (2) 工場又は事業場の付近の見取図 (3) 工場又は事業場の敷地内の建物配置図又は特定施設(騒音に係る特定施設を除く。)の配置図 (4) ばい煙等(騒音を除く。)発生又は排出及びばい煙等(騒音を除く。)の処理に係る操業の系統の概要を説明する書類 (5) 特定施設(ばい煙に係る特定施設に限る。)の構造概要図及びばい煙等(騒音を除く。)の処理施設の構造概要図		
※市町村長の意見又は審査結果			

備考 1 ※印欄には、記載しないこと。

2 △印欄の記載については、次の表の区分による書類によること。

区 分	特 定 施 設 の 種 類	特 定 施 設 の 構 造	特 定 施 設 の 使 用 の 方 法	ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法
ばい煙	別紙1	別紙1	別紙2	別紙3
粉じん又は有害ガス	別紙4	別紙4	別紙4	別紙5
汚水又は廃液	別紙6	別紙6	別紙7	別紙8
悪臭	別紙9	別紙9	別紙9	別紙9

汚水又は廃液に係る特定施設の種類及び構造

汚水又は廃液に係る特定施設の種類	7-(3) 分離施設			該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。(施行規則 別表第1の3参照)
工場又は事業場における施設番号	分液槽-001			当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
基数	1基			
名称及び型式	分液槽 〇〇社製 BUNEKISO_01			名称、製作メーカー及び型番を記入する。
規模・能力	300L SUS			施設の処理能力、材質等を記入する。
着手予定 設置 年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	該当するもの以外は、取消し線を入れる。
使用開始予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	
参考事項				「排水が数日に1回しか排出しない」や「施設からの廃液は産廃業者に委託し、河川へ排出しない」など参考事項があれば、その旨を記入する。

- 備考
- 1 汚水又は廃液に係る特定施設の種類の欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の3に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
 - 2 汚水又は廃液に係る特定施設設置の届出にあっては着手予定年月日を、汚水又は廃液に係る特定施設使用の届出にあっては設置年月日を記載すること。
 - 3 汚水又は廃液に係る特定施設の使用届出にあっては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。
 - 4 水質関係有害物質使用特定施設にあっては、参考事項の欄にその旨を記載すること。

汚水又は廃液に係る特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		分液槽-001 ←					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時~24時 24時間/回 1回/日 31日/月		時~時 時間/回 回/日 日/月		時~時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動	無 ←					
原材料	種類	〇〇 ←					
	1日の使用量(kg/日)	200					
	使用方法	分離					
製品又は中間製品の取出しに際しての廃液の分離方法		蒸留					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大
使用水量(m ³ /日)		10	15				
排水量(m ³ /日)		5	10				
水質	pH	5.0~8.0	4.0~9.0				
	BOD(mg/L)	150	200				
	SS(mg/L)	100	150				

当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。

・季節による使用状況の変動の有無について記入する。
・季節変動がある場合はいつ頃の程度変動するか記入する。(例えば、夏季は通常の1.5倍稼働など)

規制基準が設定されている項目を使用又は排出する場合は、原材料に記入すること。(項目については、施行規則 別表第2の3参照)

・特定施設から排出された直後の水質を記入する。
・pH、BOD(又はCOD)、SSについては原則記入し、人の健康項目及びその他の項目に係るもの(項目については、施行規則 別表第2の3参照)を排出する場合はその項目も記入する。

排水口(浸透口)ごとの水量、放流先(浸透先)及び水質	排水口(浸透口)	排水量(m ³ /日)	放流先(浸透口)	水質			
	総合排水	4,000	〇〇川	pH	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	
				6.3~7.8	10	20	

・公共用水域へ排出する際の水質を記入する。
・pH、BOD(又はCOD)及びSSについては原則記入する。
・人の健康項目及びその他の項目に係るもの(項目については、施行規則 別表第2の3参照)を排出する場合は、その項目も記入する。
・規制基準については、施行規則別表第2の3を参照
・ND等と記入する場合は「ND(<0.2)」のように数値も記入する。

備考 特定地下浸透水については、()で記載すること。

汚水又は廃液の処理の方法

処理施設の工場又は事業場における施設番号		活性汚泥施設 001			当該工場又は事業場で当該処理施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
処理に係る汚水又は廃液に係る特定施設の工場又は事業場における施設番号		分液槽-001			当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
処理施設の種類・名称・型式		BOD除去型 活性汚泥処理施設 コンクリートピット			名称、製作メーカー及び型番を記入する。
着手予定 設 置 ← 年月日		令和〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	該当するもの以外は、取消線を入れる。
使用開始予定 年月日		令和〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	
処 理 設 施 構 造 等	規 模	曝気槽 3,200m ³ 分離槽 1,600m ³			
	能 力	7,000m ³ /日			
	処 理 の 方 式	活性汚泥法			
処 理 設 施 の 使 用 状 況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等	0時～24時 24時間/回 1回/日 31日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季 節 変 動	無			<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節による使用状況の変動の有無について記入する。 ・ 季節変動がある場合はいつ頃の程度変動するか記入する。(例えば、夏季は通常の1.5倍稼働など)
処 理 に 要 す る 消 耗 資 材	資 材 名	磷酸 28%NaOH			
	用 途	菌の栄養分 pH調整			
	1 日 の 使 用 量	磷酸 30kg 28%NaOH 15kg			

		処 理 前		処 理 後	
		通常	最大	通常	最大
排 水 量 (m ³ /日)		2,900	3,800	3,000	4,000
水 質	pH	5.0~8.0	4.0~9.0	6.8~7.3	6.3~7.8
	BOD (mg/L)	150	200	5	10
	SS (mg/L)	100	150	10	20
排 出 先		〇〇川 ←			
残 さ	種 類	余剰汚泥			
	生 成 量	170 t/月			
	処 理 方 法 概 要	産廃委託 ←			

- ・処理する前の水質には、特定施設以外の汚水又は廃液（雨水、生活排水等）も含めたものを記入すること。
- ・pH、BOD（又はCOD）及びSSについては原則記入する。
- ・人の健康項目及びその他の項目に係るもの（項目については、施行規則 別表第2の3参照）を排出する場合は、その項目も記入する。
- ・処理後の水質は、当該施設から施設外へ出る排水の濃度（排水基準が適用される項目）を実測値や設計値で記入する。（単位：mg/L）
- ・ND等と記入する場合は「ND（<0.2）」のように数値も記入する。
- ・規制基準については、施行規則別表第2の3を参照。

次の処理施設や排水河川名等を記入する。また、排水を下水道に排出している場合は、その旨を記入する。

全量産業廃棄物処理業者等に委託して処理する場合は、その旨を記入する。

備考 1 汚水又は廃液に係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、汚水又は廃液に係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
2 汚水又は廃液に係る特定施設の使用届出にあつては、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。